

泡瀬通信隊前（米軍泡瀬通信施設）



泡瀬通信施設(55ha)は沖縄市の泡瀬半島の先端に位置し、米海軍第7艦隊の通信業務が行なわれています。泡瀬漁港に近接し北側には中城港湾が位置しています。

沖縄戦終結後接收されていた泡瀬半島は昭和40年から段階的に返還され、昭和45年までの6回の返還で20万坪、昭和51・52年の返還で53万坪が返還されその多くは現在、県総合運動公園になっています。現在の泡瀬ではこの通信施設にあるアンテナと通信施設のみが残って使用されています。

泡瀬飛行場の建設のために砂を掘ったためにため池ができており、基地内のフェンスわきにある池は、周囲を木々がうっそうと生い茂り、サギなど水鳥が翼を休める隠れたオアシスとなっています。